

2025 年日本国際博覧会における IOWN を活用した様々なユースケースの創出

日本電信電話株式会社(以下、NTT)は、2025 年日本国際博覧会(以下「大阪・関西万博」)を舞台に、日本国際博覧会協会や様々な大阪・関西万博への参画団体とともに、IOWN All-Photonics Network (APN) を活用した未来のユースケースを万博会場内外に実装します。

- ① One World, One Planet(一般社団法人 日本国際博覧会協会)
会期中毎日(184 日間)日没後に、協会の公式催事として行われる、光と音、デジタルとフィジカルのスペクタクルショーです。IOWN を活用して 4 面 LED CUBE、壁面プロジェクションマッピング、NTT 館サイネージなどの操作を同期させる演出をサポートします。
- ② 超歌舞伎<CHO-KABUKI> Powered by IOWN(松竹株式会社、株式会社ドワンゴ、中華電信公司)
5 月 24 日(土)、25 日(日)の NTT デーに万博会場内大催事場(シャインハット)で上演する超歌舞伎『今昔饗宴千本桜 Expo2025 ver.』において、世界初となる国際間(日本-台湾) IOWN を活用した、日台の演者や観客が一体となる演出を実現します。
- ③ 1 万人の第九 EXPO2025(株式会社毎日放送)
大阪・関西万博開幕日の 4 月 13 日(日)に毎日放送が主催する催事「1 万人の第九 EXPO2025」において、佐渡裕氏の指揮のもと、ウォータープラザと大屋根リング南側に並んだ1万人の合唱をひとつにまとめるサポートに IOWN を活用します。また、合唱の音声や映像を IOWN で毎日放送局舎まで届けることで、リモート環境下で制作作業を実施することができる「リモートプロダクション」を実現します。
- ④ 放送局向けリモート制作環境の提供(日本放送協会、朝日放送テレビ株式会社、関西テレビ放送株式会社、読売テレビ放送株式会社)
会期中、大阪・関西万博会場のメディアセンターとデータセンター上の制作設備を IOWN で接続し、複数の放送局が接続できるようにすることで、リモートプロダクション環境の共同利用化を実現します。
- ⑤ IOWN を活用したふれあう伝話(日本館、いのち動的平衡館、関西国際空港)
会期中毎日、音や映像に加え、触覚・振動を送り合うことができる「ふれあう伝話」を設置し、離れた人とハイタッチをしたり、触れ合う感覚を伝え合ったりすることができます。

(詳細は <https://group.ntt.jp/newsrelease/2025/01/27/250127a.html>)

⑥ 遠隔農機操作(国立大学法人北海道大学)

6月5日(木)~16日(月)にテーマウィーク“食と暮らしの未来”に出展される農林水産省のブースにおいて、EXPO メッセと北海道大学の農場を IOWN で接続し 1,200km 以上離れた農機を違和感なく遠隔操作する体験をサポートします。

⑦ ITS スマートポールを活用した自動運転(株式会社パナソニック システムネットワークス開発研究所)

舞洲万博パーク&ライドシャトルバスの安全・円滑な自動運転を支援するため走行ルート上に設置される ITS スマートポールのセンサーデータを、IOWN で接続したネットワークサーバで処理する、モビリティ分野では全国初の試み※です。将来的な ITS スマートポールの用途拡大・導入コストの低減と、自動運転技術の普及に貢献することを目指します。

※2025年3月21日現在、NTT 調べ

⑧ めくもりある触感伝送「Remotouch」(トヨタ紡織株式会社)

NTT パビリオンの応接コーナーに遠隔からタッチセラピーが受けられるブースを設置、IOWN で接続し、遠隔地にいるセラピストの絶妙な力加減と声・表情を双方にリアルタイムで伝えるセラピーを提供します。

⑨ 遠隔接客「newme」(セブン-イレブン・ジャパン株式会社)

アバターロボット“newme”を会場内のセブン-イレブン店舗に設置し、店舗と NTT パビリオンバックヤードを IOWN 接続し、会期中毎日遠隔オペレータが接客することで、遅延のない自然な接客を実現します。

⑩ 未来型ライブビューイング(神戸ストークス、OneBrightKOBE)

GLION ARENA KOBE(2025年4月開業予定)で行われる“神戸ストークス”の試合の模様を、現地と万博会場を IOWN で接続し、映像のみならず FEEL TECH を活用しアリーナの振動を共有する新しいスポーツ観戦体験を提供します。

■ 本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

日本電信電話株式会社

広報部門

ntt-pr@ntt.com

■ 本件に関するお客さまからのお問い合わせ先

日本電信電話株式会社

研究開発マーケティング本部

ntt_expo2025@ntt.com